

環境経営レポート



福島印刷株式会社

対象期間 2024年8月21日-2025年8月20日

発行日 2025年10月31日





1	はじめに - 環境経営方針 -	...	P.3
2	事業活動の概要	...	P.4
3	環境経営計画とその実績	...	P.8
4	環境経営目標とその実績	...	P.9
5	環境活動の取組み① ...廃棄ロール紙の分別・リユース・リサイクル	...	P.18
6	環境活動の取組み② ...廃材(建材)利用パレット	...	P.19
7	環境関連法規等の遵守評価 並びに違反訴訟等の有無	...	P.20
8	環境教育・訓練	...	P.22
9	外部評価	...	P.24
10	代表者による全体評価と見直し	...	P.25
参考	SDGs(Vision2030)	...	P.26

レポート内のキャラクター画像・イラストは、生成AI(ChatGPT、Gemini)で作成したものです。

1. はじめに - 環境経営方針 -

基本理念

福島印刷株式会社は、企業活動と地球環境の調和を目指し、資源の有効活用、環境汚染の予防及び生物多様性の保全に取り組んでまいります。
地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識して、「循環」「共生」「参加」を基調とした持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

当社は、印刷業としての特性を活かし、直接的及び間接的な環境影響を配慮するとともに、企業活動を通じて顧客への積極的な情報提供、グリーン購入及び森林資源の適切な利用と保護への積極的参加等を行い、循環型社会形成への貢献に向けて「エネルギーに対する基準」「廃棄物に対する基準」「有害物質に対する基準」を作成し、全社をあげて環境保全活動を展開してまいります。

1. 循環型社会形成への貢献

1) エネルギーに対する取り組み

地球資源の保護と地球温暖化防止のため、電力消費の節減等省エネルギーに努めます。

2) 廃棄物に対する取り組み

リデュース(廃棄物の発生抑制)・リユース(材料等の再使用)・リサイクル(材料等の再生利用)の徹底に取り組み、資源の有効活用を促進し、可能な限り廃棄物の減少に努めます。なお、循環的な資源利用及び処分の順位は、①再利用、②再生利用、③熱回収、④処分とします。

3) 有害物質に対する取り組み

生産過程で利用する有機溶剤など環境影響の大きい物質の使用量の削減、適正管理を推進します。
また、物品の購入にあたっては環境負荷の少ない製品等を積極的に選択し、グリーン調達を進めます。

2. 法の遵守と環境改善活動への参加

「リサイクル法」「廃棄物処理法」「PRTR法」等、環境に関連する法規制を遵守いたします。

3. 環境保全活動の目的

- 1) コストダウン 当社は、環境保全活動を通して、実効のあるコストダウンを実践します。
- 2) 製品開発計画 当社は、顧客ニーズに対応した環境にやさしい製品開発活動を展開し、紙ベース製品からデータ加工製品への移行に取り組み、製品の差別化を図ります。

4. 環境経営目的及び目標の設定と継続的改善

環境経営方針に基づき環境経営目的、目標を定め、
これを実行し見直すことにより、継続的改善を図ります。

5. 環境経営方針の周知と公開

全従業員に対し環境教育等の啓発活動を行い、環境経営方針を周知徹底するほか、
当社のホームページ等での一般公開を行い、当社の環境に対する姿勢を広く内外に示します。

P.8で
実績報告
あり！



P.9～で
実績報告
あり！



制定日：2005年2月20日
改訂日：2023年8月21日



代表取締役

松井 睦
Mutsu Matsui

2. 事業活動の概要

事業者名および代表者名

福島印刷株式会社 代表取締役社長 松井 睦



認証・登録範囲

印刷物の製造及び販売

認証・登録対象事業所の所在地(2025年8月20日)

本社・工場	920-0357	石川県金沢市佐奇森町ル6
東京オフィス	101-0044	東京都千代田区鍛冶町1-5-7
大阪オフィス	532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原5-1-28
福井オフィス	918-8237	福井県福井市和田東2-1718
さいたまサテライト	358-0014	埼玉県入間市宮寺4102-18

環境保全関係の責任者及び担当者、連絡先

責任者

総務部長 堺 嘉弘



担当者

総務課長 橋本 哲也



担当部署 安全衛生環境委員会

連絡先 電話 : 076-267-5111 FAX : 076-267-8065
E-mail : soumu@fuku.co.jp

売上高

2021年8月期(第69期)	8,551 百万円
2022年8月期(第70期)	7,673 百万円
2023年8月期(第71期)	7,163 百万円
2024年8月期(第72期)	6,698 百万円
2025年8月期(第73期)	7,331 百万円

※1事業年度は毎年8月21日から翌年8月20日までの一年間とする。



金沢本社・工場

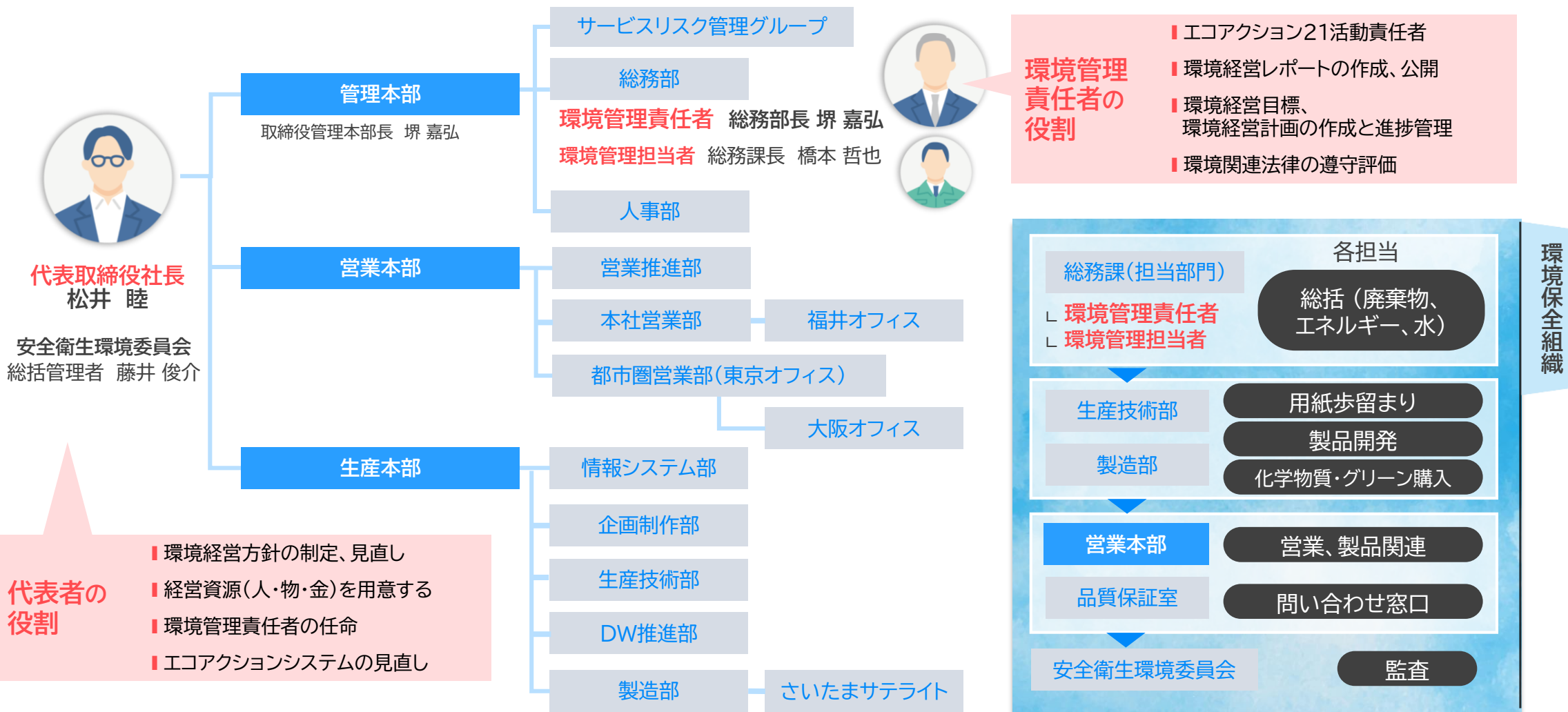
本社は北陸
石川県金沢市
にあります！

事業の規模

会社設立年月日	1952年9月10日
資本金	4億6千万円
製品出荷額	7,331百万円(2025年度)
紙購入量	4,986t(2025年度)
従業員数	462名(2025年8月20日時点)
工場延べ床面積	25,569 m ²

2. 事業活動の概要

福島印刷株式会社 エコアクション21 推進組織図 2025.8.21時点



2. 事業活動の概要

主な事業目的

各種ダイレクトメール、
帳票類等事務用印刷物の製造・販売
および 情報処理事務の受託



販売・広報・業務用印刷物の企画・制作
および 製造・販売



各種情報システムの開発、設計、制作
および その販売



主な原材料

用紙、印刷インキ、プリンタトナー・インク、糊、アルミ板、段ボールケースを使用

廃棄物 フローチャート

印刷工程で生じる
廃棄有害物質も
あります



廃棄物名	置場	表示名	収集運搬業者	中間処理業者	処理方法	リサイクル	最終処理
油付着物	倉庫棟 外部	廃油	環境開発(株) (有)ランアース	-	焼却	-	管理埋立 処分
廃油				-		-	
廃インキ				-		-	
廃糊		汚泥	環境開発(株) 松田産業(株)	-		-	
廃プラスチック	倉庫棟1階廃 棄物置場	廃プラス チック類	(株)兼子 環境開発(株)	(株)トスマク・アイ 環境開発(株)	破碎・ 圧縮固化	固形燃料	-
不燃物ゴミ			環境開発(株) (有)ランアース	-	-	-	管理埋立 処分
製版フィルム	刷版室	木くず	(株)兼子	環境開発(株)	焼却	-	
廃パレット	資材倉庫外			(株)トスマク・アイ	破碎	チップ	-
定着液	地上タンク	廃酸	環境開発(株) (有)ランアース	環境開発(株)	焼却	セメント材料	管理埋立 処分
現像液 PS液		廃アルカリ				-	

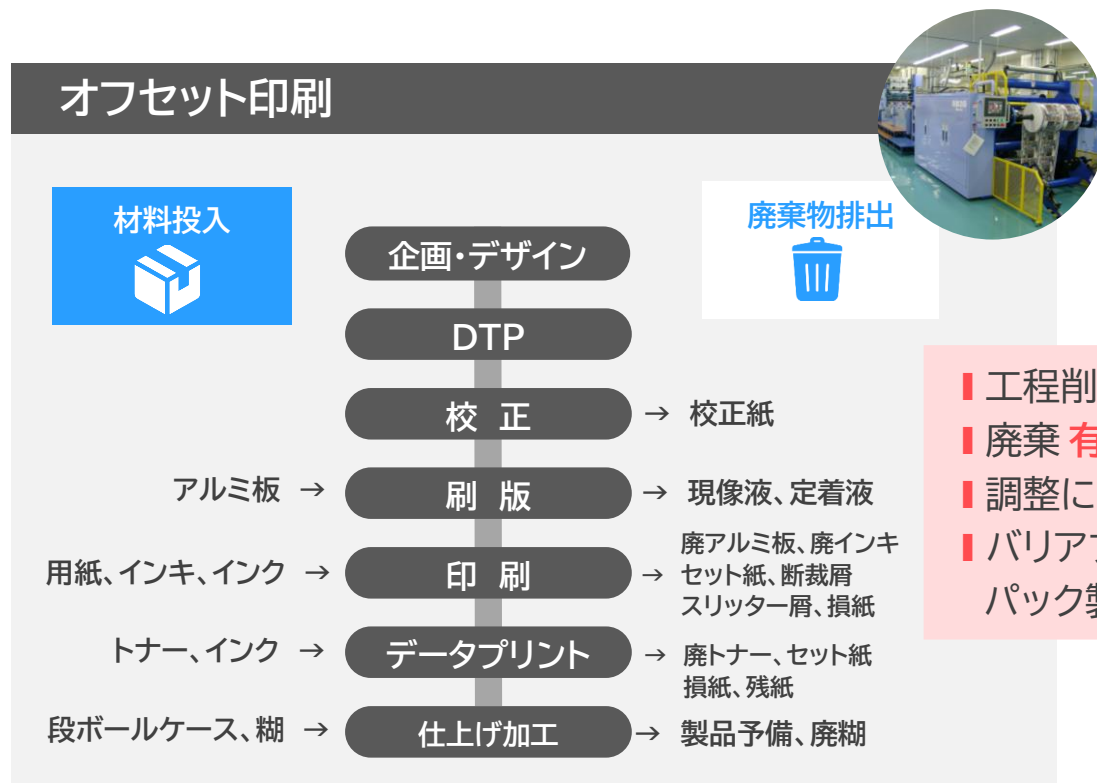
2. 事業活動の概要

印刷製造フローチャート

オフセットからデジタル印刷への切替えによる、環境影響について

オフセット印刷からデジタル印刷への切替えは、工程、段取り、用紙使用量の削減と、好転する条件が揃っています。

オフセット印刷



- 工程削減による**資源の節約◎**
- 廃棄 **有害物質の減少◎**
- 調整による**用紙使用量減少◎**
- バリアブル印刷が可能、
パック製品で**段取り回数削減◎**

デジタル印刷



工程削減

廃棄物削減



オフセット印刷で使う**インキ**

▶ 練インキで、特色含め**約100種類**の管理が必要



デジタル印刷で使う**インク** ▶ 墨・藍・紅・黄の**4種類のみ**！

エネルギー効率改善の可能性についても、
今後検証していく予定です！



3. 環境経営計画とその実績

◎ 徹底した対策 △ 対策しているが実施弱い
○ 対策しているが改善余地あり × 対策未実施

1. エネルギーに対する取り組み

		部署	評価
空調	冷房28℃暖房20℃を基準とし、空調管理を徹底（製造現場は25℃、湿度50%）	全社	○
	定期的に空調設備点検を実施	総務	◎
照明	LED化推進	総務	○
	危険個所等の常備灯以外の有効的な照明利用	全社	◎
	<新項目> こまめな消灯	全社	◎
生産	<新項目> オフセット印刷からデジタル印刷への移行	生産本部	○
	新設備導入時は省エネ機器を検討	生産本部	○
	歩留まり率向上に取り組む	生産本部	◎
	トラブル減少による廃棄品の削減	全社	○
自動車	エコドライブ、安全運転に努める	営業・物流	◎
	社有車更新時：環境に配慮した車両購入と減車の検討	総務	◎

2. 廃棄物に対する取り組み

排出物の分別徹底する	全社	◎
パック製品売上伸長	営業本部	○

3. 有害物質に対する取り組み

新規導入時のリスクアセスメント徹底	製造部	◎
PRTR法指定物質の利用量管理	購買課	○
UVインク利用推進	生産本部	○

すべての取り組み
項目において、
対策着手できました



4. 環境経営目標とその実績

環境経営目標

循環型社会形成への貢献

環境経営目標	管理項目	活動目標	内部監査項目
	▼	▼	▼
 エネルギーに対する取り組み	二酸化炭素排出量	原単位昨年実績1%削減	空調・照明・動力の管理状況
	水使用量		管理状況・改善施策
 廃棄物に対する取り組み	紙類排出量		分別状況
	産廃排出量		
	リサイクル率	直近5期実績平均維持	
 有害物質に対する取り組み	有害化学物質	有機溶剤管理強化・代替推進	管理状況・改善施策

法の順守と環境改善活動への参加

PRTR法	使用量削減・代替推進	管理状況・改善施策
省エネ法	原単位昨年実績1%削減	-
リサイクル法・廃棄物処理法	廃棄物管理強化	マニフェストの管理状況
グリーン購入法	FSC 用紙使用率・ グリーン購入品比率改善	改善施策

環境保全活動の目的

歩留まり率	前期実績1%改善	改善施策
商品開発	パック製品売上高伸長	-
-	UVインキ比率の改善	-

環境問題に対する、
福島印刷の**基本姿勢と**
具体的な取り組みを
示したものです



4. 環境経営目標とその実績

二酸化炭素 (kg-CO₂)

		目標	2025年度	2026年度	2027年度
電気	原単位(売上高:百万円)	0.01	301.98	298.96	295.97
冷暖房用重油	原単位(売上高:百万円)	0.01	48.21	47.73	47.25
加温用LPGガス	原単位(売上高:百万円)	0.01	10.33	10.23	10.13
ガソリン	原単位(売上高:百万円)	0.01	1.88	1.86	1.84
軽油	原単位(売上高:百万円)	0.01	2.19	2.17	2.15
合計	原単位(売上高:百万円)	0.01	364.59	360.94	357.33

水使用量 (m³)

上下水道	原単位(売上高:百万円)	0.01	0.81	0.80	0.79
地下水	原単位(売上高:百万円)	0.01	4.26	4.21	4.17
合計	原単位(売上高:百万円)	0.01	5.11	5.06	5.01

紙排出量 (kg)

紙排出量	原単位(売上高:百万円)	0.01	279.90	277.10	274.33
------	--------------	------	--------	--------	--------

産業廃棄物排出量 (kg)

産業廃棄物	原単位(売上高:百万円)	0.01	6.75	6.68	6.62
-------	--------------	------	------	------	------

リサイクル率 (紙排出量／(紙排出量＋産業廃棄物排出量))

リサイクル率	%	0.01	97.89%	97.89%	97.89%
--------	---	------	--------	--------	--------

省エネ法原油換算量 (ℓ)

原油換算量	原単位(売上高:百万円)	0.01	227.53	225.25	223.00
-------	--------------	------	--------	--------	--------

歩留り率

歩留り率	%	0.01	59.86	60.46	61.07
------	---	------	-------	-------	-------

目標値は、
エネルギー管理指定工場が
目標とする
年平均1%以上です



4. 環境経営目標とその実績

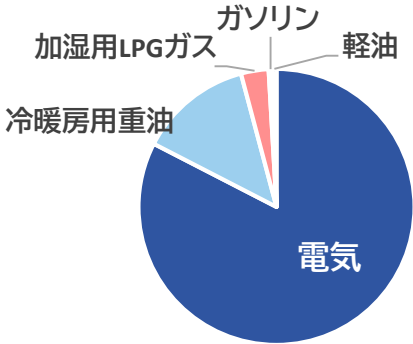
エネルギー・廃棄物に対する取り組み状況

過去4年間(2021年8月21日～2025年8月20日)と今年の実績数値

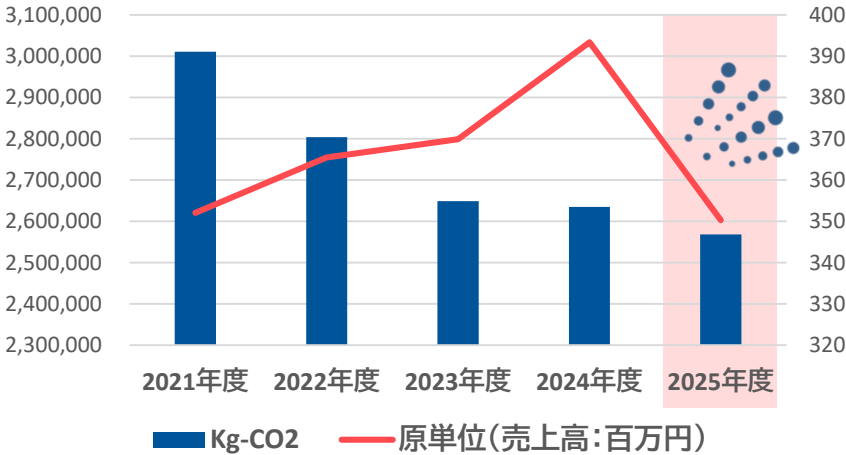
二酸化炭素		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
電気	Kg-CO2	2,551,719	2,322,184	2,206,929	2,124,904	2,120,417
	原単位 (売上高:百万円)	298.39	302.63	308.11	317.22	289.22
冷暖房用 重油	Kg-CO2	380,001	384,789	352,328	356,750	341,321
	原単位 (売上高:百万円)	44.44	50.15	49.19	53.26	46.56
加湿用 LPGガス	Kg-CO2	63,570	82,262	75,507	129,290	83,057
	原単位 (売上高:百万円)	7.43	10.72	10.54	19.30	11.33
ガソリン	Kg-CO2	14,587	14,099	13,709	13,780	10,854
	原単位 (売上高:百万円)	1.71	1.84	1.91	2.06	1.48
軽油	Kg-CO2	1,050	956	790	10,162	12,569
	原単位 (売上高:百万円)	0.12	0.12	0.11	1.52	1.71
合計	Kg-CO2	3,010,927	2,804,290	2,649,264	2,634,886	2,568,219
	原単位 (売上高:百万円)	352.09	365.46	369.86	393.35	350.30

※ 二酸化炭素の排出係数は0.374kg-CO2/kwhを使用しています。

2025年度二酸化炭素排出 内訳



CO2排出量と原単位の推移



原単位は大きく改善！
売上増加(2024年度比109%)の中で
CO2排出量を減少(97.5%)
させることができました

水使用量		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
上下水道	m ³	7,617	5,080	5,909	5,798	5,144
	原単位(売上高:百万円)	0.89	0.66	0.82	0.87	0.70
地下水	m ³	55,338	53,327	47,506	28,795	37,954
	原単位(売上高:百万円)	6.47	6.95	6.63	4.30	5.18
合計	m ³	62,955	58,407	53,415	34,593	43,098
	原単位(売上高:百万円)	7.36	7.61	7.46	5.16	5.88

紙排出量

紙排出量	Kg	2,778,310	2,305,060	2,045,585	1,840,335	1,874,055
	原単位(売上高:百万円)	324.89	300.40	285.58	274.74	255.62

刷版等資源回収・再資源

刷版等資源回収・再資源	Kg	-	45,793	37,635	23,702	38,576
	原単位(売上高:百万円)	-	5.97	5.25	3.54	5.26

産業廃棄物排出量

作業廃棄物	Kg	60,880	55,380	49,340	36,560	48,241
	原単位(売上高:百万円)	7.12	7.22	6.89	5.46	6.58

リサイクル率(紙排出量+刷版等資源回収・再資源)／(紙排出量+刷版等資源回収・再資源+産業廃棄物排出量)

リサイクル率	%	97.86%	97.70%	97.69%	98.08%	97.54%
--------	---	--------	--------	--------	--------	--------

省エネ法原油換算量

原油換算量	ℓ	1,901,734	1,756,150	1,662,850	1,632,082	1,603,263
	原単位(売上高:百万円)	222.38	228.86	232.15	243.65	218.68

歩留り率

歩留り率	%	55.5	57.7	58.7	59.1	62.4
------	---	------	------	------	------	------

4. 環境経営目標とその実績

エネルギー・廃棄物に対する取り組み状況

2025年度目標値（2023年度実績値から2%削減・リサイクル率のみ過去5期実績値）と実績
※2024年度実績が悪化した為、目標値は2023年度実績値から2%削減とする

二酸化炭素

		目標値	実績値	実績／目標
電気	Kg-CO2	-	2,120,417	-
	原単位(売上高:百万円)	301.98	289.22	0.96
冷暖房用 重油	Kg-CO2	-	341,321	-
	原単位(売上高:百万円)	48.21	46.56	0.97
加湿用 LPGガス	Kg-CO2	-	83,057	-
	原単位(売上高:百万円)	10.33	11.33	1.10
ガソリン	Kg-CO2	-	10,854	-
	原単位(売上高:百万円)	1.88	1.48	0.79
軽油	Kg-CO2	-	12,569	-
	原単位(売上高:百万円)	2.19	1.71	0.78
合計	Kg-CO2	-	2,568,219	-
	原単位(売上高:百万円)	364.59	350.30	0.96

水使用量

		目標値	実績値	実績／目標
上水道	m ³	-	5,144	-
	原単位(売上高:百万円)	0.86	0.70	0.82
地下水	m ³	-	37,954	-
	原単位(売上高:百万円)	4.26	5.18	1.22
合計	m ³	-	43,098	-
	原単位(売上高:百万円)	5.11	5.88	1.15

取り組みの評価

二酸化炭素

■ 原単位で目標達成

原単位で目標を大きく上回って達成することができました

■ 効果があった主な取り組み

- ・ オフセット印刷のデジタル印刷への移行推進
- ・ LED移行進捗率60%(3年で100%目指す)
- ・ トラブル削減
- ・ 製造と連携しての電気使用量削減取り組み(チラー・スリッター)



目標
達成!

水使用量

■ 積雪が多く、目標未達!

水使用量・原単位共に目標未達になりました
積雪量が多かった為、融雪装置で地下水を多く使用し悪化しています

目標
未達



4. 環境経営目標とその実績

エネルギー・廃棄物に対する取り組み状況

2025年度目標値（2023年度実績値から2%削減・リサイクル率のみ過去5期実績値）と実績

※2024年度実績が悪化した為、目標値は2023年度実績値から2%削減とする

紙排出量		目標値	実績値	実績／目標
紙排出量	Kg	-	1,874,055	-
	原単位(売上高:百万円)	271.99	255.62	0.94
刷版等資源回収・再資源				
刷版等資源回収・再資源	Kg	-	38,576	-
	原単位(売上高:百万円)	3.50	5.26	1.50
産業廃棄物排出量				
産業廃棄物	Kg	-	48,241	-
	原単位(売上高:百万円)	5.40	6.58	1.22
リサイクル率				
(紙排出量 + 刷版等資源回収・再資源) / (紙排出量 + 刷版等資源回収・再資源 + 産業廃棄物排出量)				
リサイクル率	%	97.89%	97.54%	1.00
省エネ法原油換算量				
原油換算量	ℓ	-	1,603,263	-
	原単位(売上高:百万円)	227.53	218.68	0.96
歩留り率				
歩留り率	%	59.66	62.4	1.05

取り組みの評価

紙排出量

■ 原単位で目標達成！

売上の増加に伴い、廃棄量は前年実績102%と増加しましたが、原単位では目標達成です
材料使用量の低減、歩留まり改善活動の結果が表れました



目標達成！

産業廃棄物排出量、リサイクル率、 刷版等資源回収・再資源

■ 原単位でも目標未達

刷版等資源回収・再資源は前期実績163%、産業廃棄物排出量は前期実績132%となり目標未達です

■ リサイクル率は目標達成！

リサイクル率に関係する紙の排出量、刷版等資源回収・再資源、産業廃棄物排出量の3項目のバランスが取れているため、リサイクル率は目標達成です

4. 環境経営目標とその実績

環境改善活動の取組み状況

有害化学物質への対応

PRTR法、有機溶剤中毒予防規則等の対象化学物質削減を重視し、継続してリスクアセスメントを実施しました。

安全衛生環境委員会が中心となり、**対象品の使用量削減及び代替品の選定**を行っています。

省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)への対応

【省エネ法第二種指定管理工場の基準値と使用エネルギーの関係】

省エネ法で求められる原単位(売上高)あたり原油換算量**1%削減は達成**しました。
(2023年4月～2024年3月:243.7kg-CO2/百万円、2024年4月～2025年3月:218.7kg-CO2/百万円)



売上増加の中、**エネルギー削減取組みにより**
原油換算量は減少しています！

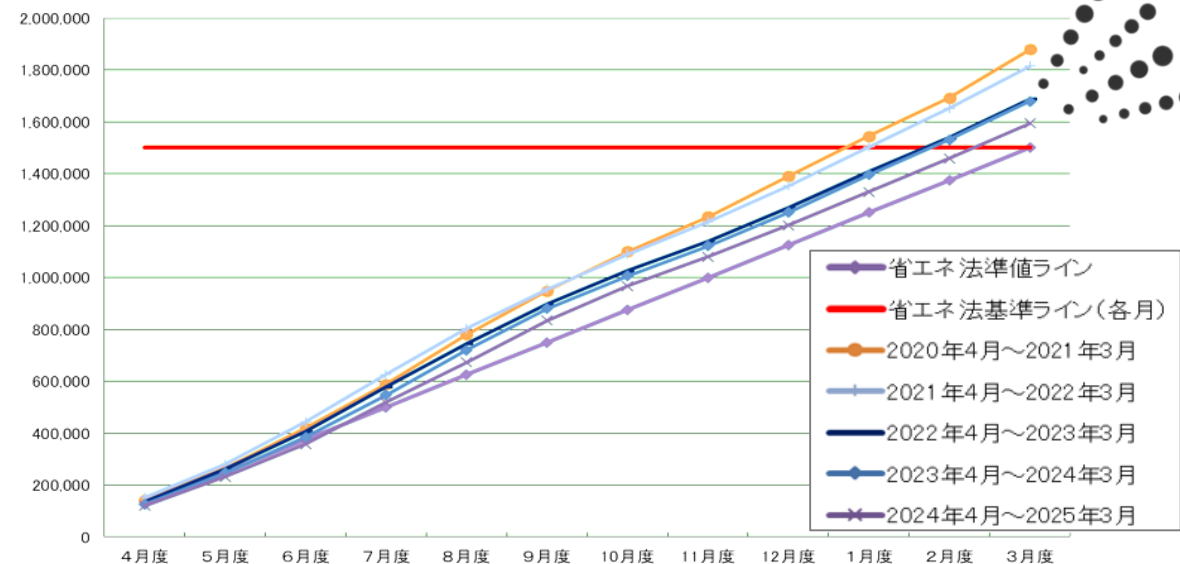
FSC用紙比率の取組み



環境負荷の少ない用紙調達手段として**FSC認証用紙の購入を推奨**しています。

FSC用紙比率推移		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
FSC 用紙 購入量	キ口	2,884	2,242	4,057	10,487	4,367
	原単位 (売上高:百万円)	0.34	0.29	0.57	1.57	0.60

原油換算量推移



4. 環境経営目標とその実績

環境保全活動の取り組み状況

歩留りの改善

資源の有効利用、廃棄物削減の活動として歩留りを指標として取り組んでいます。

1. 各工程の予備改善(再印字予備含む)
2. 同時作業時のセット紙、予備改善
3. パック商品の推奨 …今後も取り組みを継続して強化していきます。

歩留り率推移		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
歩留り率	%	55.5	57.7	58.7	59.1	62.4

パック商品の売上高

パック商品は、段取りや予備に使う用紙を著しく削減できる為、環境に優しい商品として売上高推移を指標としています。デジタル印刷への移行推奨により、全体売上が増加していますが、**パックは微減の状態**です。引き続き推奨していきます。

パック商品伸長率

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	円	1,740,868,989	1,642,800,755	1,788,888,521	1,835,917,757	1,814,587,786
(対前期)伸長率	%	119.69%	94.37%	108.89%	102.63%	98.84%

UVインキ比率

原材料の環境負荷を考慮し、ノンVOCインキ(UV硬化インキ)の比率を指標としています。**継続して高い水準を維持**しています。

UVインキ比率		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
UVインキ比率	%	92.1%	92.3%	96.2%	92.8%	94.8%

補足

「パック商品」とは？

高速インクジェットを駆使し、異なるお客様の通知物や多版種のダイレクトメールを連続して印刷・加工するサービスです。デジタル印刷のため、在庫レスで運用でき、都度発送でも低コストを実現します。

環境寄与と顧客価値を両立させた
福島印刷の主力サービスの一つです！



4. 環境経営目標とその実績

サービス原単位・廃棄原単位

(使用エネルギーと原材料(紙)を合わせたCO2排出量の指標化)

■ サービス原単位: (紙購入CO2 + 使用エネルギーCO2) ÷ 売上高

■ 廃棄原単位: 紙廃棄CO2 ÷ 売上高

サービス原単位		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
紙購入+電気等排出	Kg-CO2	8,501,966	8,125,984	8,384,861	7,504,968	6,907,279	6,501,171	6,856,653
原単位(売上高:百万円)	Kg-CO2/ 百万円	1,093	1,051	981	978	964	971	935
廃棄原単位		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
廃棄材料CO2	Kg-CO2	2,774,773	2,499,891	2,389,347	1,987,404	1,759,203	1,582,688	1,611,687
原単位(売上高:百万円)	Kg-CO2/ 百万円	357	323	279	259	246	236	220

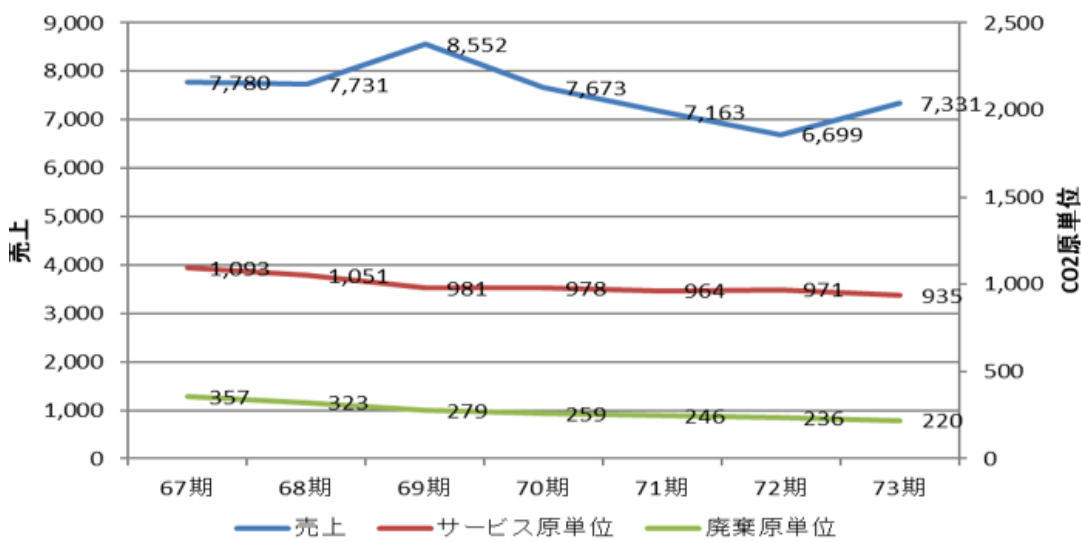
パック商品の推進・歩留り改善活動の取り組みの成果が出て、**廃棄原単位**は**順調**に下がっています。

昨年若干悪化してしまった**サービス原単位**も、**今年は改善**しました。



紙を取り扱うため、**空調管理がとても重要**です！
空調等の固定エネルギー削減は難しく、
大幅改善が困難な指標の一つです

サービス原単位 推移



5. 環境活動の取組み① …廃棄ロール紙の分別・リユース・リサイクル

印刷で用いる資源の有効活用

廃棄ロール紙の分別

廃棄を単純化せず、紙と紙管に分けて処理することで、資源の有効活用を推進します

▶ 分別により、リサイクル率の向上に貢献 ◎

紙管のリユース

紙管を再利用することで、廃棄物発生を抑えるとともに新たな資源投入を減らします

▶ リユースは資源循環において重要な取り組み！環境負荷の低減に貢献 ◎

用紙のリサイクル

マット系用紙と上質系用紙に分別しそれぞれ適切にリサイクルすることで、資源の循環を実現します

▶ リサイクルは森林資源の保護や、CO₂削減に寄与 ◎



＼この項目にも関連／

環境負荷の低減

再利用・リサイクルを進めると、新規資源の採取・加工時に比べてエネルギー消費が少なく環境負荷が低減されます

▶ 廃棄物の削減は、焼却処分や埋立処分によるCO₂排出量の抑制に寄与 ◎

持続可能な社会づくり

紙資源のリサイクルは森林保護などに直接的な影響を及ぼします

▶ 持続可能な社会づくりに貢献 ◎

紙をメインで扱う企業として！
資源消費の責任と、
持続可能な生産を意識しています



SDGsとの
関連

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



6. 環境活動の取組み② …廃材(建材)利用パレット

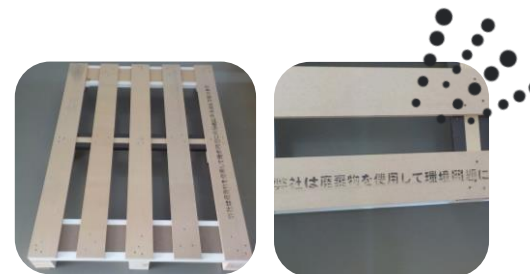
資源循環・廃棄物削減

廃材(建材)パレット活用

建材などの廃材をパレットとして再利用することで、廃棄物の発生を抑制しています

▶ 新たな資源を使用せず既存資材を活用することで、資源循環型社会の構築に貢献 ◎

廃材(建材)パレット



パレットとは？

…工場や倉庫内で、荷物を載せて運んだり、保管時に用いられたり、作業効率化に欠かせないツールです

／この項目にも関連／

環境負荷の低減

新規パレット製造時に必要な資源採掘・加工プロセスでのエネルギー消費を削減します

▶ 廃材の再活用で、廃棄物の焼却や埋立による環境負荷(CO₂排出等)を低減 ◎

写真の通り、印刷会社ではとにかく
沢山のパレットを使用するため、
廃材パレットは用途に応じて
計画購入しています



SDGsとの
関連

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



7. 環境関連法規等の遵守評価 並びに違反訴訟等の有無

環境関連法規の違反および苦情等はありませんでした。

関係当局により違反、訴訟等の指摘は過去3年間には一度もありませんでした。

下記一覧で、
遵守状況を定期的に
自主チェックしています！



福島印刷の事業活動と法規制

法規名	遵守事項	当社の遵守内容	チェック日		確認者
大気汚染防止法 (金沢市条例)	1. ばい煙発生施設の届出 伝熱面積 5㎡ 燃焼能力 50ℓ/h以上	1. ボイラーの届出→金沢市、金石消防署 ばい煙濃度測定 2回/年	25.02 ○	25.09 ○	平井
下水道法	1. 特定施設の届出 ・新設・構造等変更・使用廃止	1. 特定施設の届出 60日前の構造等変更届出 新設変更等無	25.02 ○	25.09 ○	平井
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 (廃掃法)	1. 産業廃棄物の保管は保管施設で行う。 2. 運搬処分は許可を受けた者が行う。 3. 管理票(マニフェスト) 4. マニフェスト交付状況の提出	1. 掲示板(600×600以上) 2. 許可証(番号、有効期限、契約書等) 3. 産業廃棄物減量化計画書の作成、提出 4. 運搬処分は90日、最終処分は180日 5. 県への届出(6/1)	25.02 ○	25.09 ○	平井
騒音規制法	1. 特定施設の届出 2. 指定区域 3. 騒音関係公害防止管理者	1. 特定施設の届出(送風機、印刷機) 2. 第4種区域(工業地域) 3. 不要	25.02 ○	25.09 ○	橋本
振動規制法	1. 特定施設の届出 2. 指定区域 3. 振動関係公害防止管理者	1. 特定施設の届出(送風機、印刷機) 2. 第4種区域(工業地域) 3. 不要	25.02 ○	25.09 ○	橋本

7. 環境関連法規等の遵守評価 並びに違反訴訟等の有無

法規名	遵守事項	当社の遵守内容	 チェック日		確認者
消防法	1. 施設の届出 2. 管理責任者	1. 重油地下タンク貯蔵所→金石消防署 (責任者 橋本 乙4類) 2. 少量危険物貯蔵所 (責任者 橋本)	25.02 ○	25.09 ○	橋本
道路運送車両法	1. 車両の管理 2. 車両の整備	1. 走行距離の報告、一斉車両点検の実施 2. 法定点検、整備の実施	25.02 ○	25.09 ○	橋本
PRTR法	1. PRTR対象物件の確認 ・製造業、出版印刷関連産業 ・20人以上 ・第一種指定化学物質 ・年間取扱量1t以上	・報告の必要性判断 ・462種リストの管理 ・SDSの管理 ・1/10程度であり規制外	25.02 ○	25.09 ○	橋本
省エネルギー法	1. 第二種エネルギー指定工場 2. エネルギー管理者の選任と届出 3. 記録	1. 原油換算量 1,500kl/年以上の場合は届出必要 (経済産業省) 2. エネルギー管理員の選任義務 3. 第二種事業者はエネルギーの使用量、 使用状況を記録する。	25.02 ○	25.09 ○	橋本
自動車リサイクル法	・所有者の責務 ・自動車の購入、車検、廃棄時におけるリサイクル料 金の負担と適切な廃車 (引き取り業者への引渡し)	・所有者の責務 ・自動車の購入、車検、廃棄時におけるリサイクル料金 の負担と適切な廃車(引き取り業者への引渡し)	25.02 ○	25.09 ○	橋本
家電リサイクル法	・消費者、事業者の義務 ・小売業者等に適切に引き渡し、収集、 再商品化に関する料金を支払う	・消費者、事業者の義務 ・小売業者等に適切に引き渡し、収集、 再商品化に 関する料金を支払う	25.02 ○	25.09 ○	平井
PCB廃棄物特措法	1. 保管等の届出 2. 保管等の状況の公表 3. 期間内の処分 4. 譲渡及び譲受けの制限 5. 継承	・保管等の届出 ・平成28年9月14日最終処分終了	-	-	平井
フロン排出抑制法	1. 定期点検(業者) 2. 簡易点検(業者)	・全台 2回/年 実施(5月・11月) ・全台 4回/年 実施(2月・5月・8月・11月)	25.02 ○	25.09 ○	平井

8. 環境教育・訓練

重油の川への流入せき止め訓練

2025年7月実施

準備する物

土嚢	スロープ下のポンプ室の外に、20個置いてある
一輪車	ポンプ室の中に配備（土嚢運搬用）
吸着マット	ポンプ室の中に配備（吸着マット＋不織布）
中和剤	ポンプ室の中に配備 2個

重油をせき止めるながれ

- 1 タンクローリー運転手から、総務課に連絡
- 2 総務課から安全衛生環境委員会スタッフに連絡
- 3 ポンプ室から、土嚢・吸着マット・中和剤を持ってくる
- 4 流れている重油の周囲を土嚢で囲み、側溝を塞いで拡散防止
- 5 その上から吸着マットをかぶせ、重油を吸収
- 6 取り終えた後、重油が流れた場所に中和剤をまき、油が残らないようにする



必要な物の
保管場所を
確認しました

土嚢

一輪車
吸着マット
中和剤

土嚢でせき止める場所

道路	周囲を土嚢で囲む（もれ始めの段階時に有効）
側溝	側溝内に土嚢を敷く（幅が狭いので数は12個ほどあれば十分）
川	川に流れ込んだ場合、速やかに消防に連絡

「A重油を給油中に、給油口から漏れ出した。川に流れ出す前に、せき止める」という訓練シナリオです

土嚢でふさぐ必要がある側溝を、全箇所指差しで確認しました



SDGsとの
関連

6 安全な水とトイレ
を世界中に



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



8. 環境教育・訓練

【年次】火災時の消火／避難訓練

2024年8月実施

訓練のながれ

- 1 複合火災受信盤の確認
- 2 消防所への通報と避難誘導(食堂業者)
- 3 消火器による消火訓練
- 4 消火栓による放水訓練
- 5 停電、火災時の避難経路確認
- 6 車椅子による搬送訓練

複合火災受信盤の説明

- 1 警報表示
- 2 表示エリア番号にて場所を確認
- 3 通信用電話機を持って現地確認
- 4 火の気が確認できた場合、「断定」ボタン

消火訓練

消火器

消火器の構造説明を受け、自衛消防隊メンバーで実演

消火栓

消火栓が迅速に使えるか、自衛消防隊メンバーで実演



火災警報を検知後の適切な動作について、複合火災受信盤前で説明を受けました

車椅子による搬送訓練



消火器



株式会社卯野商会様の指導による実演



消火栓



SDGsとの
関連

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



9. 外部評価

エコアクション21 現地審査より

2025年3月17日実施

審査コメント



「 認証取得後、今回が10回目の更新審査。
その間、環境マネジメントシステムの社内への定着に努め、部署ごとの目標管理、小集団活動、改善提案などにより、生産性向上による環境負荷低減の取り組みが確立しています◎ 」

評価いただいたポイント



- 社内で作業グループごとに日常管理板(ホワイトボード)を活用し、作業指示や改善提案、目標管理の対応状況など周知徹底している
- 従業員の社内教育により、多能工化して業務の集中している部門の応援をスムーズにして、生産効率向上を図っている
 - ▶ 生産性向上に結びつき、環境負荷低減につながる◎
- 変圧器や照明のLED化を計画実施する他、生産用印刷機も計画的に導入・更新している ▶ 効率UPと環境負荷低減につながる◎

いただいた提案・助言



※ 要求事項に関する不適合はありませんでした

「環境経営レポートに自社の取り組みを紹介し、環境への取り組み活性化を図られていますが、その際、SDGsとの関連も同時に紹介することをお勧めします。

また、環境経営レポートにはグラフや写真を活用して読者が分かりやすい表現を目指していただき、社内のコミュニケーションや、エコアクション21の取り組みの活性化に結びつけていただきたい」

2025年度版(本レポート)より実施◎

- SDGs取り組み貢献照合表を追加
- 公開を意識した「分かりやすい」内容に見直し
- 生産現場における取り組みを写真付きで紹介するページを追加

10. 代表者による全体評価と見直し

- 積み重ねてきた取り組みについては、**効果も表れており評価**できます
引き続き法令の遵守を基本に活動を進めてください
- 外部評価でいただいた助言を活かし、
今回、レポートが分かりやすく刷新されました
社内外とのコミュニケーションに積極的に活用してください
- **本業を活かした環境への貢献**が当社の方針であり、
活動の主体は各部門が中心となります
推進事務局は社内取組の状況把握や意見収集を通じて、
目標(KGI・KPI)設定の在り方も含め、PDCAを回して行ってください



レポートは、社内外への取り組み、
および環境経営方針の共有・発信に
役立てていきます！



2025年10月31日

代表取締役 **松井 睦**
Mutsu Matsui

参考資料. SDGs(Vision2030)との関連

今回のレポートで紹介した
取り組みでは、17のゴールの内
9個の項目に貢献できました！



福島印刷の活動の内、環境関連に限定した照合表です。

	1 貧困	2 飢饉	3 健康 福祉	4 教育	5 ジェン ダー	6 水・ 衛生	7 エネ ルギー	8 雇用 経済	9 産業 技術	10 不平 等	11 都市	12 生産 消費	13 気候 変動	14 海洋 資源	15 陸上 資源	16 平和 公正	17 パート ナー シップ
P.7 オフセットからデジタル印刷切替え						○			○			○					
P.8～ エネルギーに対する取り組み							○					○	○				
P.8～ 廃棄物に対する取り組み												○	○				
P.8～ 有害物質に対する取り組み												○	○				
P.18 廃棄ロール紙に関する取り組み												○	○		○		
P.19 廃材(建材)パレット活用												○	○				
P.22 重油の川への流入せき止め訓練						○								○	○		
P.23 火災時の消火／避難訓練			○								○						